

桐生信用金庫の環境への取組みについて

【環境学習】

桐生市を流れる渡良瀬川の源流に最も近い足尾が緑豊かな環境になることを願い、当金庫は平成21年度より足尾植樹活動を行っています。平成28年度からは、NPO法人足尾に緑を育てる会が主催する「春の植樹デー」に多くの役職員やその家族が参加しています。

また、平成27年度より「カッコソウ協議会（桐生市公園緑地課自然観察の森内）」のカッコソウ保全活動支援を始めたことに伴い、新入職員の環境学習の一環として、カッコソウが自生する鳴神山への観察会を実施しました。参加した職員がカッコソウについて学ぶだけでなく、地元の桐生にどのような自然があるか、そして残していきたいかを考える良いきっかけとなることを願っています。



【きりしん地球温暖化防止計画】

当金庫は平成20年度に「きりしん地球温暖化防止計画」を策定し、電力・ガソリン・コピー用紙の使用量削減に努めています。本店をはじめ、店舗ごとにそれぞれの使用量を集計し、年度ごとに設定した目標を達成できるよう、また既に達成している場合は、現在の水準を保つことができるよう、職員一丸となって取り組んでいます。

【クールビズの実施】

当金庫ではこれまで、夏期におけるノーネクタイ・ノー上着での勤務とするクールビズを実施してきました。令和3年度からは、ポロシャツやスニーカーなどの軽装勤務を可とした「スーパークールビズ」を実施、令和5年10月からは通年における「ビジネスカジュアル」を導入しました。今後もエアコン設定温度の抑制による省エネや、熱中症対策など働きやすい職場づくりを目指します。

【環境配慮型店舗の導入】

店舗の移転や建て替えの際は、環境に配慮した設備を積極的に導入しています。現在、新桐生・相生・川内・藪塚・久宮・新田・玉村・大泉・きりしん太田スクエア（太田支店・内ヶ島支店）の9店舗に太陽光発電設備を設置してい

る他、平成 25 年 5 月に新築移転した玉村支店を皮切りに、その後の改装や建て替えを行った店舗の証明は全て LED としています。

また、令和 4 年 10 月にオープンした「きりしん太田スクエア」は金庫初の ZEB 対応店舗となっています。

【環境配慮型通帳・封筒の使用】

平成 23 年 2 月より、総合口座通帳（2 種類）、普通預金通帳（2 種類）、定期預金通帳、定期積金通帳の計 6 種類の通帳を、「カーボンオフセット」を利用した環境配慮型通帳に切り替えました。

また平成 24 年 9 月からは、再生紙・植物油インキを使用したエコ現金封筒を使用しています。

【環境 GS 認定制度】

環境 GS（ぐんま・スタンダード）認定制度は、群馬県内の事業者が、温室効果ガスを持続的に削減するための計画を立て、実行、点検、見直しを行う体制を整備し、これを組織的に運用することを支援するものです。当金庫では、平成 18 年の本店の認定を皮切りに、現在では県内全ての店舗および出張所が認定されています。

当金庫の取り組みについて詳しくはホームページをご覧ください。

<https://www.shinkin.co.jp/kiryu/>